

2024年4月16日

大阪府知事 吉村 洋文 様
大阪市長 横山 英幸 様

明るい民主大阪府政をつくる会
事務局長 有田 洋明

「2025年大阪・関西万博」に関する質問状

「明るい民主大阪府政をつくる会」（以下、「明るい会」）は、2025年大阪・関西万博の開催にあたって、1）会場建設費など上振れで公費負担の増大、2）海外パビリオン建設の大幅な遅れ、3）災害時の避難計画もなく、子どもたちや来場者の安全が守れない、4）カジノ I R 誘致のためのインフラ整備に公金投入、5）可燃性ガス爆発事故の発生で作業員と来場者の安全確保の不安が生じるなど「いのち輝く未来社会」という万博の理念に反する事態が次々と起こっています。

「明るい会」は3月19日、政府に対し「大阪・関西万博の中止を求める署名」を第1次分として5万478人分を提出し、一日でも早く万博中止の決断することを強く求めてきました。

つきましては、大阪府・市におかれましても、「万博の中止」を表明するとともに、政府に働きかけるよう求めます。なお、下記のとおり質問させていただきますので、誠意ある回答をお願いします。また、質問項目と回答される内容は、広く府民に公開したいと考えています。

【質問項目】

1. 甚大な被害の能登被災地復興を優先すべき

石川県の能登半島は壊滅的な被害を受けています。この1年をみても、建築資材の需要が増す時期が万博の工事と被災地の復旧工事が重複することになります。万博協会は「万博工事が被災地の復旧復興に大きな影響はない」という説明に到底納得できません。同時に、万博関連事業として、大阪府・市が発注する多くの公共事業が同時並行で進められています。被災地の皆さんが一日も早く生活再建できる環境を早く取り戻すため、不要不急の万博工事は止めるべきと考えます。甚大な被害を受けた被災地の復興を最優先とし、万博の中止を早く決断すべきではないですか。

2. 子どもたちの「万博招待」は安全軽視

4歳～18歳までの子どもを万博に無料招待する計画と聞いています。脆弱なアクセスに加え、熱中症なども懸念されます。学校側から下見ができず見学パビリオンが限定されるなど、不安や疑問の声が上がっています。さらに、爆発事故の現場は「パビリオン会場ではない」と説明していますが、バス駐車場や出入口付近であり、危険なエリアに子どもたちを連れていくことは反対です。

なぜ、学校行事として動員するのですか。

3. なぜ「夢洲」を万博会場を選んだのですか

実際、陸上（大阪市内）からアクセスが2ルートしかなく、来場者の輸送をはじめ、災害時における避難ルートの確保、さらに「夢洲」が廃棄物埋立地で土壌汚染や地盤沈下の恐れがあります。

このような危険リスクある「夢洲」を万博会場にどうして決めたのですか。来場者の安全確保や利便性より、カジノ誘致のための夢洲インフラ整備を優先したということになりませんか。

4. 災害時の避難など総合的な防災計画の策定は

2023年12月に万博会場の防災基本計画（初版）を策定されています。しかし、具体的な避難計画など防災上の重要な項目が記載されていません。いつごろ策定されるのでしょうか。

「夢洲」と隣接する「咲洲」「舞洲」とともに、大阪市内や安全な場所へ誘導可能な避難計画こそ、来場者の安全を守るために重要です。夢舞大橋、舞洲からの此花大橋の状況など大阪市の防災計画とも密接な関係にあります。来場者の安全を守るため、「夢洲」から避難できない事態を想定して、食糧備蓄計画や休憩場所等の設置など、総合的な防災計画などを策定されていますか。

5. ガス爆発事故で夢洲万博は中止決断すべき

「夢洲」万博会場に近い廃棄物処分場で、ガス爆発事故が起きました。ガス爆発事故の原因究明と安全が十分確認できるまで工事中断すべきです。事故防止対策の内容を教えてください。

万博会場がコンクリートで覆われることから、充満したガスが会場全域に拡散する可能性が指摘されています。また、災害時にPCBなど汚染物質が漏れ出し、来場者や工事関係者への健康被害が想定されています。来場者に被害を及ぼす危険性に対し、どのような対策を考えていますか。

6. 事業費や運営費の収支赤字なら補填をどうしますか

会場建設費が当初計画の1.9倍の2350億円に倍加し、建設資材等の高騰、人件費が増えるなど、公的負担増が懸念されています。万博協会副理事長の吉村知事は「厳しく予算執行状況を確認し、コスト管理を徹底する」と表明されています。具体的に何をするのか教えてください。

万博運営費が収支マイナスでも「赤字分は負担しない」と知事らが発言しており、国と大阪府・市は赤字補填しませんか。会場建設費など事業費が上振れ時はどう対応されますか。

7. 建設・運輸労働者の時間外労働上限規制は大丈夫ですか

4月1日からは、建設・運輸業などに従事する労働者に対する時間外労働の上限規制が適用されています。大幅に遅れているパビリオン建設など開催までの工期に間に合いますか。

大阪府・市の発注する万博関連事業で夜間工事を行う場合など、労働者の安全と健康を守る観点から具体的な対策と運用計画など教えてください。また、大阪パビリオン建設をはじめ、道路や橋梁などインフラ整備が予定どおり工事進捗が進んでいますか。その理由を教えてください。

8. 1日来場者20万人以上もの下水処理が可能ですか

1日20万以上が来場する「夢洲」万博の下水圧送管から大阪市此花下水処理場に送られると聞いています。同下水処理場に「夢洲」の下水処理量が増えても処理可能でしょうか。

可動橋の夢舞大橋に圧送管を付設されますが、不具合など事故時の対応策はありますか。雨水など路面排水口の流入下水は「分流式で海域放流」「下水処理」いずれの方式を採用されますか。

9. 「万博の理念」と関連で参加企業の社会的責任を問います

小林製薬（大阪市）の「紅麹」サプリメントで健康障害を引き起こすなど社会的にも大きな問題になっています。初動の対応遅れなど小林製薬の責任と同時に、検査なしで販売可能な機能性表示食品のあり方が問われています。万博テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」という理念をふまえ、小林製薬のパビリオンに出展予定で「大阪ヘルスケアパビリオン」のプレミアムパートナー企業として協賛しています。小林製薬に対して「出展中止」など企業責任は問わないのですか。